

# 1. 中部ブロックの現状と課題

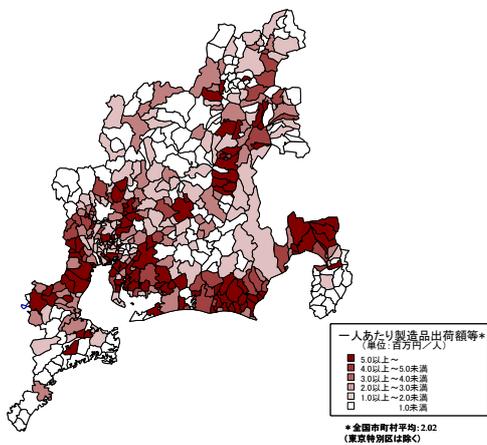
## < 産業の国際競争力の強化 >

中部地方は、「モノづくり」の拠点として、我が国の経済活力の源泉となってきた。今後とも産業の国際競争力の強化を図るためには、物流効率化によるコスト低減、物流のスピードアップなどにより、「モノづくり中部」の基盤を固めていく必要がある。

## 我が国の「モノづくり」の拠点である中部地方

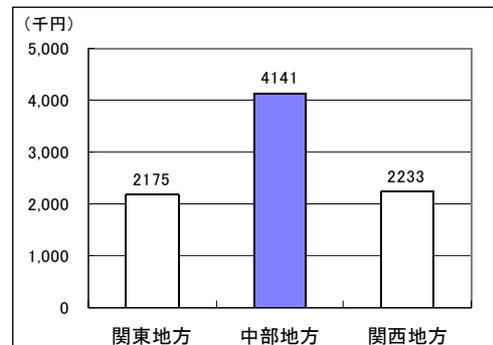
中部地方の人口一人あたりの製造品出荷額等は他の地方と比べると非常に高く、この地域に多くの「モノづくり」の拠点が集積しています。

中部地方における人口一人あたり製造品出荷額等  
(2001年)の状況



出典) 経済産業省「工業統計」(2001年)、総務省「住民基本台帳要覧」(2001年)をもとに作成

人口一人あたり製造品出荷額等の3大都市圏比較図



注) 関東地方: 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の1都7県

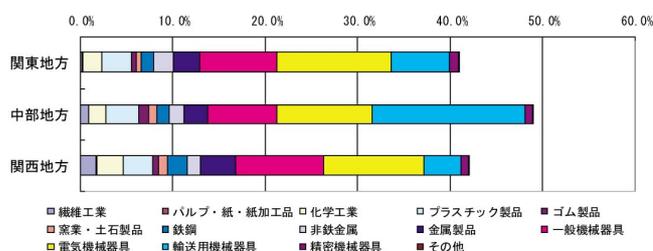
中部地方: 長野・岐阜・静岡・愛知・三重の5県

関西地方: 福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の7府県

出典) 経済産業省「工業統計」(2001年)、総務省「住民基本台帳要覧」(2001年)をもとに作成

中部地方は「モノづくり」を支える基盤的技術産業が域内に集中しており、基盤的技術が産業全体に占める割合は関東・関西地方に比べて高いものとなっています。中部地方には、とりわけ、輸送用機械器具(自動車産業など)に係る基盤的技術産業が高度に集積しており、中部地方がわが国の自動車産業の要となっていることがわかります。

製造品出荷額等に占める基盤的技術産業の割合



注1) 関東地方: 茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の1都7県

中部地方: 長野・岐阜・静岡・愛知・三重の5県

関西地方: 福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の7府県

注2) 基盤的技術とは、例えば、熱処理、プレス、組み立て加工のようなもので、グラフの凡例の各業種について「特定産業集積の活性化に関する臨時措置法」では合計249の基盤的技術産業が定められている(例えば、輸送用機械器具に対する、自動車車体製造、自動車部品製造など)。

上のグラフは249の基盤的技術産業が製造業全体に占める割合を表す。

出典) 経済産業省「工業統計」(2001年)より作成

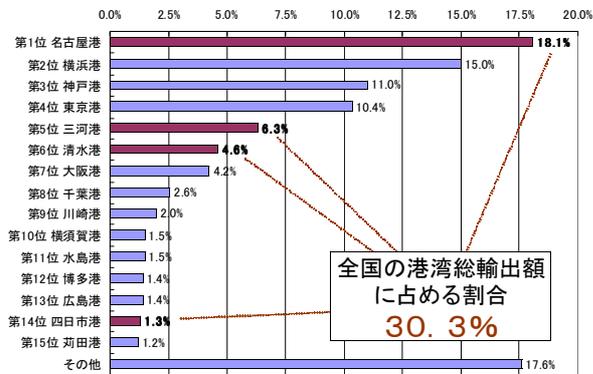


「モノづくり中部」を支える自動車産業

## 我が国の国際物流を支える中部地方の港湾

中部地方の主要貿易港からの輸出額は全国の港湾総輸出額の30パーセント以上を占めています。

### 主要貿易港の輸出額上位15港のランキング



出典) 日本関税協会「外国貿易概況」(2002)をもとに作成



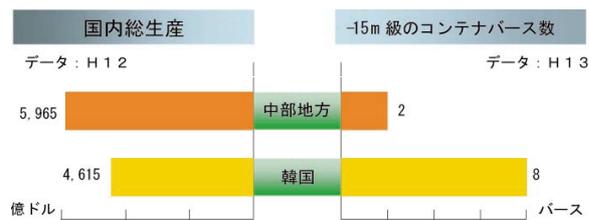
港から自動車輸出

中部地方の港湾は、約40の国、地域の100以上の港とコンテナ定期航路で結ばれています。

### 中部地方からの主な定期航路



### 中部地方と韓国の国内総生産及び大水深コンテナバース数の比較



中部地方は、総生産では韓国一国を上回っていますが、水深15m級の大水深コンテナバース数では大きく遅れています。



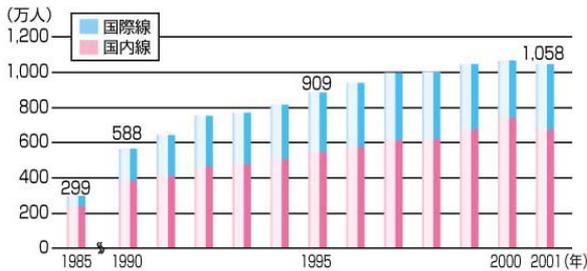
海上に設置されたシーバース接岸する石油タンカー (四日市港)

## 名古屋空港の利用が少ない中部地方発着の国際航空貨物等

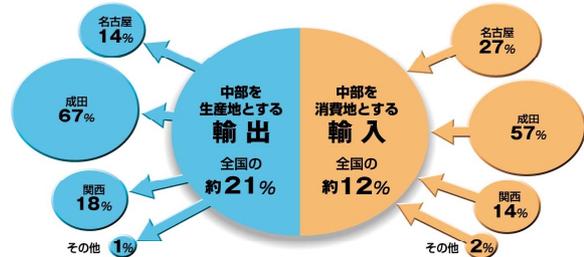
名古屋空港の旅客数や航空貨物の取扱量は年々増加傾向にあります。

しかしながら、名古屋空港の就航便数の少なさから、中部地方の航空貨物の多くが新東京国際空港や関西国際空港から発着している状況にあります。

名古屋空港の旅客数

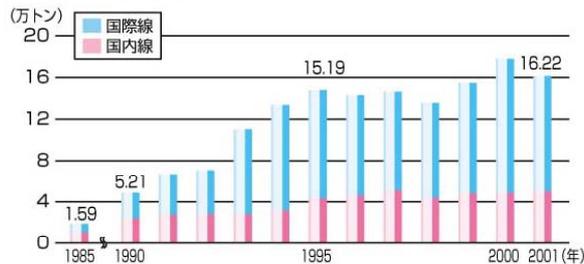


中部発着の国際物流の利用空港



出典) 名古屋税関「管内における輸出入貨物に係る物流動向調査」2002年度第1回  
注) 中部5県(愛知・三重・岐阜・長野・静岡)  
注) 数値は7日間(2002年9月1日～7日)の調査結果に基づく

名古屋空港の航空貨物取扱量



出典) 中部国際空港機



現在の名古屋空港

## 近年伸び悩みが見られる中部地方の製造業

我が国の産業競争力の源泉となってきた中部地方の製造業は、アジア諸国の経済成長や生産拠点の海外流出などにより近年伸び悩む傾向にあり、有効求人倍率も低迷し続けています。

中部地方の製造品出荷額等と国内総生産(GDP)の推移



出典) 経済産業省「工業統計」、内閣府「国民経済計算」

中部地方における海外進出事業所数(製造業)と有効求人倍率の推移



出典) 東洋経済「海外進出総覧」、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県労働局資料